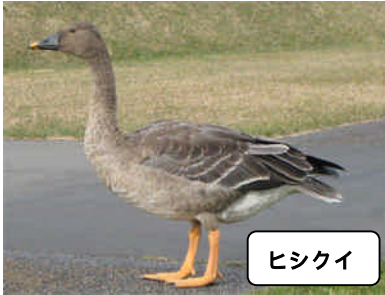


ネイチャーセンターだより



9・10月のみどころ

【9月】



ヒシクイ

9月中旬にはシギ・チドリ類の秋の渡りのシーズンが終わりを迎えます。それと入れ替わるようにクロガモ、オナガガモ、ヒシクイなどのカモ類が渡来し始めます。中旬以降にはチュウヒやチョウゲンボウなどのカタ類も渡来し、春国岱は渡り鳥で賑わいをみせます。また、ハマナスが赤く熟した実をつけ、森ではドングリやクルミが実ります。

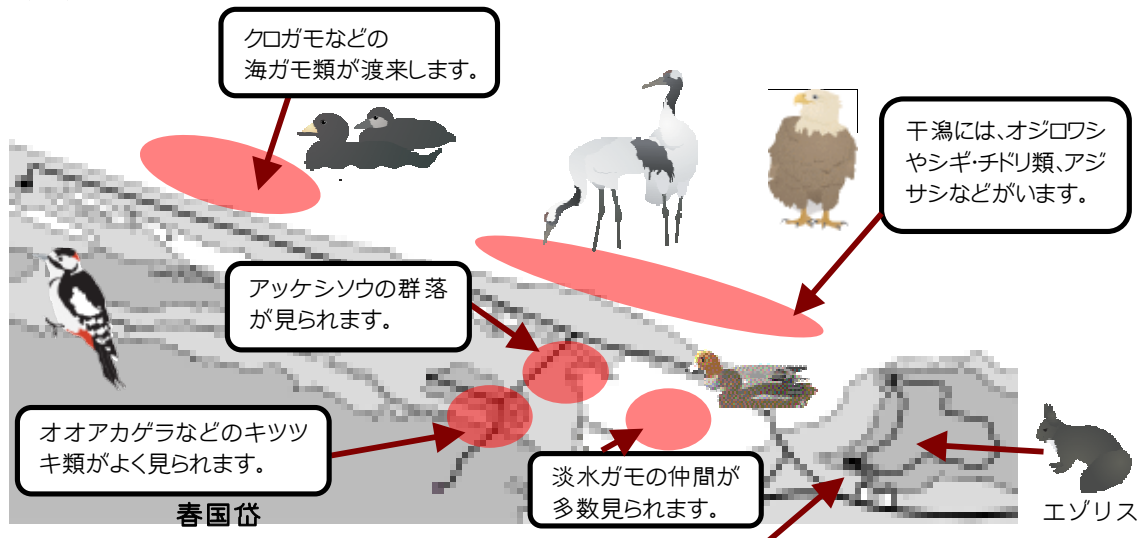
【10月】

10月上旬にはアッケシソウが真っ赤に色づき見頃になります。エゾリスが冬ごもりの準備のためドングリやクルミを森のあちこちに隠します。中旬には、カモの渡来数がピークになり、風蓮湖全体で2～3万羽もの数になります。下旬にはコオリガモなどの海ガモ類やハイイロチュウヒ、オオハクチョウが飛来します。



ハイイロチュウヒ

おすすめスポット



春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。お気軽にお声かけください。

トピックス

秋の宝石 アッケシソウ

9月中旬を過ぎると、春国岱の塩湿地でアッケシソウという植物が紅葉し始めます。アッケシソウは、葉や茎にベタシアニンという色素を生成することで赤く色づきます。その赤く変色した美しい姿からサング草とも呼ばれています。また、アッケシソウは塩生植物のなかでも優れた耐塩性をもっています。そのため、他の植物が生育できないような塩の影響が強い場所に生育することが出来ます。

美しい姿で有名なアッケシソウですが、近年ではその数を減らしています。かつては道東やオホーツク海沿岸の塩湿地、宮城県や中国地方の塩田跡地に分布していましたが、近年は、北海道、岡山県、香川県を除きほぼ絶滅に近い状態で、環境省のレッド・データブックでは、絶滅危惧IB類（EN）に指定されています。原因はアッケシソウの生息地である塩湿地の減少です。本州では塩田跡地が開発され、比較的の生息地が多い北海道でも地盤沈下や湖岸の侵食などで徐々に数を減らしています。

このように絶滅が危惧されているアッケシソウですが、春国岱では毎年秋に美しい姿を見せてくれます。アッケシソウにとって春国岱は日本の中で数少ない楽園になっているようです。今年も春国岱で彼らは順調に育ってくれています。きっと、秋には私たちに宝石のように赤く美しい姿を見せてくれることでしょう。



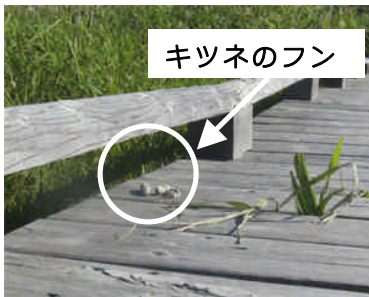
アッケシソウ

道東に位置する厚岸町で発見されました。その地名にちなんで「アッケシソウ」と名づけられました。

春国岱クイズ

春国岱の木道の上に、キタキツネがフンをしていることがあります。キタキツネがわざわざこんな目立つところにフンをするのはどうしてでしょうか？

* A・Bから答えを選んでください。



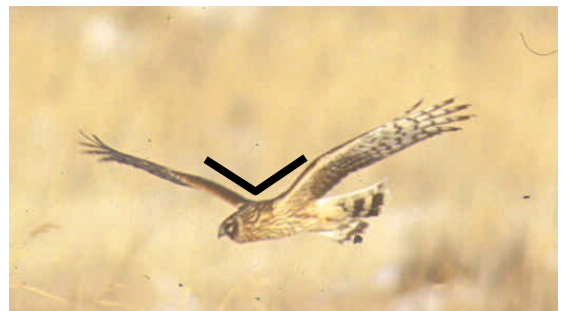
A 仲間への自己アピール

B 人間への嫌がらせ

答えは次号に掲載します。

(先月号の答え…B)

いきもの図鑑



英名 Hen Harrier 学名 *Circus cyaneus*

ハイイロチユウヒ（タカ科）
日本に越冬のため飛来します。飛来地は局所的で個体数も多くありませんが、毎年春国岱にも飛来します。草原や湿地で低空飛行をしながら獲物を探すが見られます。滑空する時は、翼がVの字に開きます。主にネズミや鳥類、カエルなど小型の動物を食べます。

レポート

「海辺の生き物観察会」

8月14日(日)、海辺の生き物を観察する行事を行いました。春国岱近くの干潟と藻場にどんな生き物が住んでいるか探しに行きました。カジカやギンポなどの魚に加え、ヤドカリやヒトデ、巻貝など多くの種類の生き物を観察することができました。参加した子どもたちは初めて触る生き物に喜んでおり、生き物を入れたバケツを食い入るように眺めていました。観察を終えた後はネイチャーセンターに戻り、参加者の皆さんに捕まえた生き物の絵を描いてもらいました。描いてもらった絵はネイチャーセンターの1階、風蓮湖水族館(水槽)の横に展示しています。



生き物採集の様子

NEWS

「トコロジスト(根室市民ガイド)養成・実践講座」

トコロジスト編、自然解説プログラム企画編を開催しました！

根室や春国岱の自然を旅行者の方に紹介する市民ガイドを養成する講座を①7月30、31日と②8月20、21日に開催しました(主催：根室市観光協会)。

①では、(公財)日本野鳥の会 人材育成グループの箱田敦只氏を講師に迎え、トコロジスト(その場所に詳しい人)になるための情報収集や情報管理、地図の使い方などの方法を学びました。②では、春国岱のレンジャーが講師となり、自然ガイドとは何か?自然ガイドをするための解説内容(プログラム)を作る方法などを、実際に解説プログラムを作りながら学びました。受講生10名の方は、なれない作業ながら協力し合って素敵な解説プログラムを完成させていました。9月には最後の講座を開催する予定です。



第1,2回トコロジスト編 受講風景

自然学習林 観察路リニューアル！

自然学習林の観察路(小鳥の小道コース)がリニューアルされ、歩きやすくなりました。ぬかるみが目立ったカエルの池やミズバショウの池などには木の橋がかけられました。また、急な坂には木のチップが撒かれたり、階段がつけられたりしました。

長靴がないと歩きにくかった小鳥の小道コースですが、気軽に歩くことが出来るようになりました。



カエルの池の様子

行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
9 / 11 (日) 13:00～15:00	マンガのキャラを作ろう ネイチャーセンター周辺の動植物をモデルに自分だけのオリジナル漫画のキャラクターを作ってみましょう！	100円	9/6(火)までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 (先着 20名) ※集合：春国岱ネイチャーセンター
9 / 23 (金・祝) 10:00～15:00	ザリガニ探偵団 特定外来生物のウチダザリガニを明治公園で駆除します。講義の後、駆除活動を行います。(12:00～13:00 昼食休憩)	100円	9/18(日)までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 (先着 20名) ※集合： 明治公園バーベキュー広場
10 / 30 (日) 9:00～15:30	風蓮湖の魅力を探るバスツアー 風蓮湖を春国岱から走古丹までバスで移動しながら観察します。普段目にしない角度から身近な風蓮湖の魅力をご紹介します。	100円	10/25(火)までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 (先着 20名) ※集合：市役所駐車場
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーでかくされた本物を探すゲームに挑戦。	無料	申込み不要

ボランティア



春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スunkと個人参加のフィールド・ボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然の調査や観察会の開催したり、自主イベントの企画・実施をしたりなどの活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。お気軽にお問い合わせください。

◆対象：高校生以上

◆会費・保険料（年間）：

フィールド・ボランティア 300円

ボランティアグループ・スunk 1500円

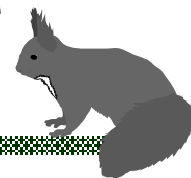
◆お問合せ：電話 0153-25-3047

マナーを守って…



美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 野外での禁煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から先は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆9月の休館日：7、14、20、21、26、28日

◆10月の休館日：5、11、12、19、26日

◆9月の開館時間：9:00～17:00

◆10月の閉館時間：9:00～16:30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。